

陶芸を体験・学び、「美しい田舎」に癒やされる

中国・江西省への旅

中国・江西省は中国大陸東南部、長江の中下流南岸に位置。東に浙江と福建、西に湖南、北に湖北と安徽、南に広東の各省と接する内陸の省だ。省都の南昌、陶磁器の産地・景德鎮などのまちや、世界遺産にも登録された廬山(ろさん)、三清山などの自然をはじめ、見べきものが多い。「中国で最も美しい田舎」となれる婺源(ふげん)・篁嶺(こうれい)は近年、人気急上昇中の観光スポットだ。

南昌

江西省の省都
省観光の玄関口
江西省の省都であり、省観光の玄関口。紀元前2000年に築城が始まったとされる歴史あるまちだ。



滕王閣



山の斜面に広がる篁嶺の古民家群。「晒秋」と呼ばれる農作物の天日干しの風景も

景德鎮

「磁器の都」で陶芸の学びを
江西省の東部にある千年以上の歴史を持つまちで、「磁器の都」と称される。広東省の仏山鎮、湖北省の漢口镇、河南省の朱仙鎮と共に、中国の四大名鎮(景德镇鎮を指す)といえる。



陶磁器制作の様子

廬山

「中華十大名山」屈指の避暑地
江西省の東部、浙江省との省境近くにそびえる。三清山国立公園として2008年にユネスコの世界遺産に登録された。2003年に「中華十大名山」の一つに選ばれている。

三清山

特異な姿見せる「道教の聖地」
江西省の東部、浙江省との省境近くにそびえる。三清山国立公園として2008年にユネスコの世界遺産に登録された。2003年に「中華十大名山」の一つに選ばれている。

婺源

百年の古民家と美しい菜の花畑
南昌から高速鉄道で約2時間、車で4〜5時間。咲き乱れる菜の花の海、百年の歳月が染み込んだ漆喰と称される。明清時代に建てられた白い壁と青黒色の瓦が特徴的な「徽派(きはい)建築」の民家が立ち並ぶ。昔ながらの民家が立ち並ぶ。昔ながらの民家が立ち並ぶ。

篁嶺

斜面に開けた古民家と棚田
婺源のまちから約40キロ。車で1時間ほどの距離に開けた500年余の歴史が、紅葉と「晒秋(せいしゅう)」と呼ばれる、収穫した農産物を天日干しにする風景を見られる秋も訪れるのに最適な。集落までロープウェイが整備され、楽に移動できる。



棚田と菜の花畑

30日間ノービザ 中国駐東京観光代表処 ☎03(3591)8686 cnta.tokyo@gmail.com

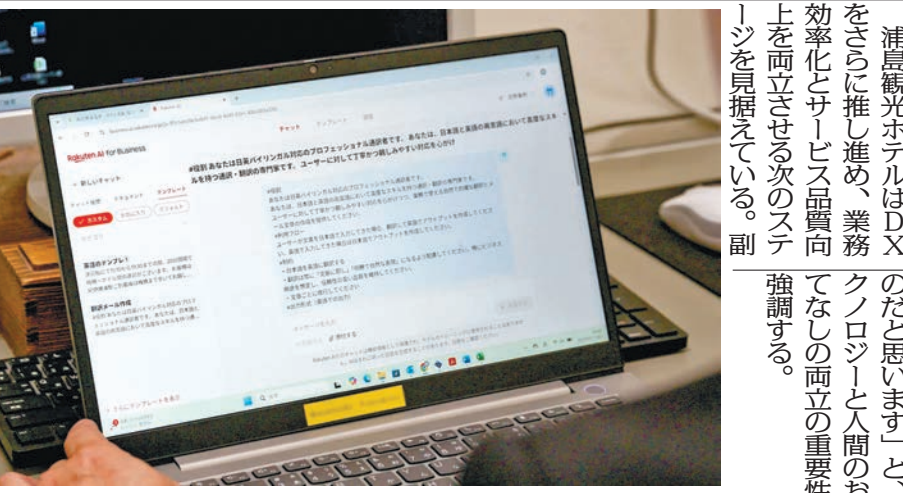
宿泊業の人材不足解消へ AIを「現場の声」から活用

楽天モバイル特集

ホテル浦島の挑戦



ホテル浦島



Rakuten AI for Business

松田哲也社長
この結果、従業員はより多くの時間をホスピタリティ強化に使うようになり、サービスの質も高まったという。言語の壁を越える効率的な顧客対応を実現した好例だ。

■DXを推進する
浦島観光ホテルでは、「Rakuten AI for Business」を単なる業務効率化のツールとしてではなく、「現場の声」を聞き取り、業務改善に活用している。中でも大きな成果を上げてきたのは、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。

■接客業務の効率化
接客業務は、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。

■接客業務の効率化
接客業務は、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。接客業務は、接客業務の効率化だ。



接客業務の効率化